

	京都大学 保健系分野（薬学）
学部・研究科名	薬学部（薬科学科（4年制）：50名、薬学科（6年制）：30名） 薬学研究科薬科学専攻（M：50名、D3：22名） 医薬創成情報科学専攻（M：14名、D3：7名） 薬学専攻（D4：15名）
沿革・設置目的	<p>医薬品の創製と生産を推進する研究、及び医薬品の適正使用と管理を担う薬剤師の養成を目的とし、京都帝国大学医学部薬学科を経て、昭和35年、京都大学薬学部が設置された。</p> <p>昭和24（1949）年 京都大学設置 京都大学医学部薬学科設置</p> <p>昭和28（1953）年 京都大学大学院薬学研究科設置</p> <p>昭和35（1960）年 京都大学薬学部設置</p> <p>平成16（2004）年 国立大学法人に移行</p> <p>平成18（2006）年 薬学科（6年制）、薬科学科（4年制）設置</p> <p>平成24（2012）年 薬学研究科（D4）設置</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 京都大学の理念等に基づき、自由の学風のもと、生命倫理を基盤に、薬学の基礎となる自然科学の諸学問と薬学固有の学問に関する知識、技能、態度を修得させ、高度化する医療に対応すべく、先端的な医療薬学の発展の中核を担う医療薬学研究・教育者および指導薬剤師を養成するとともに、総合的な学問的素養と創造性を持ち、独創的な創薬研究・教育を遂行しうる薬学研究・教育者を養成する。</p> <p>○ iPS細胞を用いた移植・再生医療やがん治療をはじめ先端医療を先導している医学系部局のもつ環境・機能を活かした先端医療教育、情報科学に立脚した創薬研究者養成などの分野横断的な教育を積極的に推進する。</p> <p>○ 創薬科学、医療薬学の各領域にわたる独創的な研究実績を活かした先端的な研究や、融合領域研究を推進し、我が国発の研究成果を広く世界に発信するとともに、医学・工学等と連携した、臨床から基礎研究への橋渡しとなるリバース・トランスレーショナルリサーチなど、新しい医療に求められる研究の発展とそれを支える薬学人の育成を目指す。</p>